

平成 29 年 10 月 24 日

平成 29 年度第 2 委員会行政視察報告書

伊豆市議会議員 西島信也



平成 29 年度第 2 委員会行政視察研修会に参加したので、その日程概要について下に記します。

視察期日	視 察 先	視 察 内 容
10 月 10 日	神戸市【心の森・多夢の森】	こども園、児童発達支援施設等 老人デイサービス、就労支援事業 所併設施設等の取組み
10 月 11 日	京都市立東山泉小 中学校（東学舎）	施設分離型小中一貫校セカンドス テージの取組み
10 月 12 日	舞鶴市役所	地域医療の推進について

これらの視察研修のうち、京都市立東山泉小中学校（東学舎）の施設分離型小中一貫校セカンドステージの取組みについて、次のとおり報告します。

- 1 開校 平成 26 年 4 月 3 日、3 小学校 1 中学校を統合
- 2 学制 5・4 制施設併用型小中一貫教育
- 3 生徒数 児童生徒数 730 名（平成 29 年度現在）
- 4 校舎 ① 東学舎は、6 年生～9 年生が学ぶ。図書館や家庭科室などの学習環境を高機能化し、交流事業やイベントに活用できるように計画されている。
日常的な校舎間の移動を行う 6 年生を 1 階に配置し、6 年生受け入れのために階段勾配や手洗い場の改修をしている。
② 西学舎は、1 年生～5 年生が学ぶ。地域住民を交えたワークショップの結果として、中庭を中心とした開放的な校舎配置が計画に反映されている。
地域交流ゾーンが 1 階にまとめて配置されている。
- 5 小中一貫した教育課程に対応した施設環境
 - ① メディアラボ（東学舎）

図書館を増床・改修して、言語活動・コミュニケーション能力育成の拠点となる「メディアラボ」を整備した。

② くらしラボ（東学舎）

調理スペースと多目的利用が可能な被服スペースを併せて、食育の拠点でありランチミーティングにも利用できるくらしラボを新設した。（東学舎）

西学舎では、無線LAN整備とオープンスペースの多用でフレキシブルな学習・発表環境を整えている。

③ 自学自習室

両学舎に生徒が待ち時間等を利用して、自発的な学習にいつでも取り組めるように複数の自習スペースがある。

西学舎の学習室は、東学舎から6年生が移動してきた際の居場所にもなっている。

東学舎3階の自習室には、個別ブースを設け、児童生徒が自分の学習スタイルに合わせて活用している。

6 教育上の特色

子供たちが確かな学力を身につけることができるよう、義務教育9年間を通した学びのスタイルやルールである「東山泉・学びのスタンダード」を定め、「シラバス～学びのみちしるべ」を各家庭に配布し、学校と家庭が学習内容等を共有しながら取組みを進めている。

1年生から中学校英語科教員による『英語活動』を開始し、5年生から一部教科担任制を導入、6年生からは国語、社会、算数以外の教科を中学校教員が担当することで小中のスムーズな接続を図っている。

6 学校運営（マネジメント体制）

学校長は1名で、週3日を西学舎に、週2日を東学舎に出勤。

西学舎に副校長と教頭の2名、東学舎に教頭を1名配置。

全教職員が兼務発令されている。

校務分掌は、小中教職員で合同に担当していないが、月に1回程度の合同会議を実施している。

学校事務は、共同実施している。

以上、説明者は今津校長先生。